



鹿児島市立吉野東小学校 No.8

学校だより

<校訓>

かしこく・なかよく・たくましく

令和4年11月24日発行

受け止めること、依存しあうことの大切さを考える

～「心を育てる 心が育てる」伊藤一彦著から～

校長 ○○ ○○

本校には、なかなか学校に行くことできない「不登校」「登校渋り」の子供たちがたくさんいます。この時代、不登校になるきっかけがあれば誰だって不登校になるし、そうならないかもしれない。でも、その子が将来社会人になって、入社拒否になるかもしれない…そういうメンタリティを誰もが持っている。それが今の時代です。

どんな素晴らしい家庭や両親に育てられても子供は問題を起こすし、悩みを抱えているものです。逆にあんまり親が素晴らしすぎて、子供が窒息することだってあるわけです。少なからず問題を抱えながら、迷いながら、苦しみながら日々、子育てをされてらっしゃることと思います。これは、私たち学校現場も同じです。

今回は、宮崎県立看護大学の教授でスクールカウンセラーの伊藤一彦先生の「心を育てる 心が育てる」(鉦脈社)の一部を紹介しながら考えてみたいと思います。(以降、著書から抜粋)

まどみちおさんの「とんちんかん夫婦」という詩を紹介します。

トンチンカン夫婦

満91歳のボケじじいの私と／満84歳のボケばばあの方とはこの頃

毎日競争でトンチンカンをやり合っている

私が片足の靴下に2枚かさねてはいたまま

もう片方の靴下が見つからないと騒ぐ

彼女は米も入れてない炊飯器にスイッチ入れて／「ごはんですよ」と私をよぶ

おかげでさくばくたる老夫婦の暮らしに笑いはたえず

これぞ天の恵みと図にのって二人ははしゃぎ

明日はまたどんな珍しいトンチンカンを

お恵みいただけるかと胸を膨らませている

厚かましくも天まで仰ぎ見て…

～「でんでんむしのハガキ」(理論社)～

なんてすばらしい発想でしょう。みなさんはそう思いませんか。ありのままを素直にそのまま受け入れる。弱さや、情けなさや、場合によっては病んでいる部分も含めて、そういうものを受け止め合う。そういう依存の関係を作るということは、とても大事だと思います。(中略)人間が世の中を生きていくのにいちばん大事なことは自分が好きなこと、人と仲良くできる事、人に尽くすことを喜びにできる事なんです。我々は金がないときは金があったらいいなど、有名でないときは有名になったらいいなど(中略)だって金をもって有名だったら幸せそうだけれども、幸せでないことは、金持ちや有名人がどれだけ犯罪を起こしているかでわかります。やっぱり僕くらいの年になると、自分が好きで自分の好きな仕事をしていて、それから人と仲良くできることが一番だと思うんです。(以上、著書から抜粋)



私を含めて学校の教員は弱みを出すのが苦手な性格の人が多様な気がします。「子供の前では強くないからいい」というか、指導する側の立場だと子供や保護者に弱みを見せることでこれから指導しにくくなるのではないかと感じてしまいます。だから、自分一人で抱え込んでしまう、頼れない、相談できない。…私は、これまでの失敗から「学校のいちばん大事なことは、保護者の方や地域の方に頼ることだ」と考えています。

学校支援ボランティアコーディネーターの伊地知先生を窓口に、たくさんの保護者や地域の方が学校の教育活動に参加してくださっています。(11月現在でのべ600名以上参加)また、交通安全の見守り活動をしてくださる保護者の方々もよく見かけるようになりました。(感謝!)

これからも学校は、学校の苦手(課題)をオープンに(さらけ出)しながら、たくさんの方々に助けてもらいたいと思います。

完璧な人間はいないんだから、教員も保護者もそして子供たちも、お互いの苦手と得意を補い合って成長していけたらいいですね。

吉野東校区小中連携研修会 10/28(金)

・吉野東小学校で小中連携研修会を行いました。この会は、吉野東小学校と吉野東中学校の先生たちが互いに集まり、子供たちへの理解を深め、系統性・継続性のある指導の在り方について、一緒に学び合う研修会です。この小中連携研修会では、学力向上や生徒指導、また保健指導や特別支援教育の分科会に分かれて、それぞれの実践や課題などを話し合うことができました。生徒指導部会では、喫緊の課題である情報端末の取り扱いや不登校問題について協議し、小学校と中学校それぞれで情報共有していくことや一緒になって取り組んでいくことを明らかにすることができました。子供たちの小中合わせて9年間の連続した学びがより充実したものになるように小学校、中学校共に連携しながら取り組んでいきたいと思ひます。

「かごしまの教育」県民週間 11/1~11/7

・「かごしまの教育」県民週間にあたる11月1日と2日に、学校開放自由参観を行いました。今回の学校開放自由参観では、多くの保護者に来校していただきました。2日間で合計646名もの保護者が来校され、子供たちの学習している様子を参観していただきました。久しぶりの授業参観に子供たちも緊張した様子でしたが、家の人の前でよいところを見せようとかんばる姿が見られました。参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

校内読書月間「読書の秋」です!

・今月は校内読書月間です。読書の秋にふさわしく、子供たちにたくさんの本に出会ってもらおうと様々な取組を行っています。子供たち同士でおすすめの本を紹介する読書郵便、読書ボランティアによる読み聞かせ、先生たちのおすすめの本紹介など、少しでも本の面白さを知って欲しいとの思いで取り組んでいます。この読書月間で、多くの子供たちが素敵なお本に出会うことを願っています。そして、読書の楽しさを感じて欲しいと思っています。



【先生たちのお薦めの本】

おいしいお茶の淹れ方を学習しました。11/9

・5年生がお茶の淹れ方についての体験授業を行いました。今回は、県茶業協同組合から講師の方が来てくださいました。5年生の子供たちは講師の方々からの説明や実演を通して、おいしいお茶の淹れ方や飲み方を知ることができました。お茶どころとして有名な鹿児島島です。子供たちにとってお茶のことをより深く知ることのできるよい機会になったと思ひます。子供たちにお茶を淹れてもらうと、よりおいしく感じられるかもですね。



タブレットの持ち帰り、始まっています!

・タブレットを使った学習については、校内では3年生以上を中心に既に行っています。今月からは、家庭への持ち帰りも順次行っています。学年によって頻度等は異なりますが、デジタルドリルを使った宿題の取組も進められています。今後は冬休み中の学習にも活用できるように準備を行っていきます。家庭学習では従来の宿題も併用しながら子供たちの学力向上に取り組んでいきたいと思ひます。

「愛のひとしづく運動」物品販売について(お礼)

・先週11月17日(木)に、注文の品を各家庭にお届けしました。**売上金は、68,260円でした。**特別支援学級保護者会の方で、鹿児島市手をつなぐ育成会に納付済みです。温かいご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。また、特別支援学級保護者会の方々には、幾度も集まって作業をしていただきました。有難うございました。

【今後の行事予定】

【11月】

30日(木)市音楽会(4-4出場)

【12月】

7日(水)持久走大会・学級PTA(低学年)

8日(木)持久走大会・学級PTA(中学年)

9日(金)持久走大会・学級PTA(高学年)

23日(金)終業式 ※ 冬休み 12/24~1/9



「人権の花」運動閉会式11/15

・今年度取り組みました「人権の花」閉会式が15日(火)に行われました。「人権の花」運動では、ひまわりを各学級で育て、お互いを思いやる心を育てる取組を実践していきました。当日は、これまでの取組の様子を児童代表が発表したり、人権擁護委員の方から感謝状をいただいたりしました。これからも一人一人がもつ「人権」を尊重する心や態度の育成に学校全体で取り組んでいき、子供たちの輝く笑顔が見られるようにしたいです。